



Delicious

Vol.4 (Mar.2021)

シンガポール日本人学校小学部 チャンギ校PTA四役・GA委員会

“チャンギdeカフェ”は、様々な分野の専門家の方にお話しいただくPTA主催の講演会で、年に数回開催しています。今回は第3回目・第4回目のご報告です。

★第3回チャンギdeカフェのご報告★

1月28日(木)に性教育ナビゲーターのアンデルセン のりこ 氏を講師にお迎えして「明るく楽しくオープンに!家庭でできる性教育」のオンライン講演会が行われました。今回は92名の方にご参加いただきました。まず「性」という言葉には性別、生殖、個人のアイデンティティなどたくさんの意味があるということ、「性」は自分の一部であり、恥ずかしいものではなく素晴らしいものであるというマインドを育む教育が「性教育」であるとお話しいただきました。子どもたちが自分や他人の身体、性を大切に自立して幸せに生きて行けるよう、大人が子どもたちを教え導く性教育はとても大切なことでした。まずは大人が性に対してポジティブな意識を持ち、性教育の必要性を理解することが重要で、その上で、子どもと性の話ができる信頼関係を築き上げることがとても大切であるとお話しがありました。

<参加者の声>

・そろそろ家庭で性教育をしなければ、と考えていたものの、タイミングや話し方などが分からずにいたので、とても分かりやすく教えていただけて参考になりました。

・恥ずかしいという気持ちを捨てて、なんでも話し合える関係性を子どもと築くことが大切だという言葉がとても印象的でした。

・必要以上にタブー視してしまっていたことを見直そうと思います。ポジティブなイメージを持つことの大切さに気づきました。また、子どもに性の話は恥ずかしいことだと思わせない態度が大切だと学びました。

・子どもを守るためにも家庭での性教育をポジティブに取り組みたいと思いました。家庭でもきちんと話し合おうと思いました。

レコーディング...

性教育はなぜ必要ですか?

1. 子ども達を守るため
2. 幸せな大人として自立していくため
3. 信頼し合える親子関係を築くため

アンデルセンのりこ



★第4回チャンギdeカフェのご報告★

2月3日(水)英語科との共催にて、チャンギ校の英語教育についての講演会が行われました。前半は、英語科主任岡部先生よりチャンギ校英語科の取り組みについてご講演いただきました。CEFRに基づいたクラス分けについての説明や、児童アンケートからは「フォニックスを導入してから読解力が向上した」という結果が出ているとのことがありました。後半は、英語クラス毎の少人数グループに分かれてグループセッションを行いました。各クラス担当教員より日頃の授業の様子や内容・自宅での学習方法について等お話しいただきました。予定時間を大幅に超えてグループセッションを行ったクラスもあり、保護者の皆様からのご質問に分かりやすくお答えいただくなどのコミュニケーションを通じた交流の機会となりました。

講演中、岡部先生より様々な資料をご提供いただきました。一部をご紹介します。

各資格・検定試験とCEFRとの対照表

文部科学省(平成30年3月)

CEFR	ケンブリッジ 英語検定 Cambridge English Qualifications	実用英語技能検定 1級-3級	GTEC Advanced Basic Core CBT	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R/ TOEIC S&W
C2	230 200 (210)			9.0 8.5				
C1	199 180 (190)	3299 2600 (2304)	1400 1350 (1400)	8.0 7.0	400 375	800	120 95	1990 1845
B2	179 160 (170)	2599 2300 (2304)	1349 1190 (1280)	6.5 5.5	374 309	795 600	94 72	1840 1560
B1	159 140 (150)	2299 1950 (1980)	1189 960 (1080)	5.0 4.0	308 225	595 420	71 42	1555 1150
A2	139 120 (120)	1949 1700 (1728)	959 690 (840)		224 135	415 235		1145 625
A1	119 100 (100)	1699 1400 (1456)	689 270 (270)					620 320

は各級合格スコア ※括弧内の数値は、各試験におけるCEFRとの対象関係として測定できる能力の範囲の上限と下限

～英語科の授業で困ったときは～

授業中は日本語禁止となっている場合、授業内容以外で困っていること、先生に伝えたいことが英語ではうまく伝えられなくて困るという場面が時々あります。このような「伝えたい」と感じる場面は、少し頑張って伝えようとする事で英語が上達するきっかけにもなりますが、同時に英語嫌いになってしまう危険もはらんでいます。どうしても伝えられない場合は担任に相談したり、英語科Eメール eikaiwa@sjschan.edu.sg に相談メールを送ってください。

<参加者の声>

- ・オンラインになってから何度か参加しましたが、移動時間の節約、自宅でリラックスしながら参加できるなど利点が多くあり、少しでも興味のあるテーマであれば、今後も気軽に参加したいと思います。
- ・今回、岡部先生から英語科の取り組みについて初めてお聞きできて良かったです。宿題カードのシステムやCEFRに基づくクラス編成表の見方などについても、全然理解できていなかったのが、この機会に知れて良かったと思います。
- ・英語科の先生が、他学年を兼ねているにも関わらず、生徒1人1人を覚えて見ていてくれる事に安心しました。

★PTA会費の還元品、学校への寄贈品のご報告★

皆様から集金させていただいたPTA会費は、PTA活動費や卒業・転出時にお渡しする記念品などに使わせていただきました。今年度は業務のオンライン化などでPTA活動にかかる諸経費が抑えることができたため、PTA会費還元品として「コットン持ち手付き巾着袋」を贈呈させていただきました。学校への寄贈品は先生方と相談し、サッカーボール70個とボールネット2個、iPad用スタンドやiPod Touchケースなど、ドラゴダンス用ドラゴン1体を寄贈させていただきました。



★第3回定例会★

2月25日(木)に、今年度最後となる第3回定例会が、校長先生、教頭先生、現PTA役員・委員、来年度PTA役員が揃いオンラインにて行われました。

<校長先生のお話>

今年度は今までなかったことをゼロから作り上げてきた年でした。「やれないからやらないのではなく、その中でもやれることを探してチャンギっ子のためにがんばろう」と言い続けてきました。一番の心の支えは保護者の皆様の温かい言葉でした。音楽発表会や学級懇談会をオンラインで開催することのメリット・デメリットがわかってきたので、来年度に向けてもっとグレードアップしていけるよう、気持ちを強くしているところです。春休みの期間が例年より長くなったことも踏まえ「読む・動く・書く」をキーワードに「チャンギっ子チャレンジカード」への取り組みをお願いします。引き続き新年度につきましてもご協力をよろしくお願いします。

<教頭先生のお話>

学校に来ることがかなり制限された中で、工夫した活動を考えていただき感謝しています。子供たちが頑張っている姿を私たちもできるだけ引き出すよう頑張ってきたつもりです。これまで感染者が関係職員や児童に出なかったということに本当にほっとしています。ご家庭でのご協力ありがとうございました。

<PTA四役のお話>

令和2年度は「子どもたち、学校、保護者の笑顔を繋げるサポート」「ペーパーレス化と業務削減のさらなる推進」の2つを活動方針に掲げ、活動をスタートしました。途中、メンバーの本帰国による交代もありましたが、四役、役員・委員協力しながら、このコロナ禍、例年通りにいかない中でも、PTA活動を全うすることができました。役員・委員の皆さん、大変な一年でしたが本当にお疲れさまでした。

★PTA活動へのご協力のお礼★

今年度はコロナの影響で、休校になったり様々な行事や活動がオンラインで行われたりと、例年とは異なった活動を余儀なくされた一年でしたが、PTA会員の皆様、学校関係者の皆様のご協力のおかげで無事PTA活動を遂行することができました。ありがとうございました。